

## 令和7年度 授業改善プラン

地域名	東上総教育事務所	学校名	芝山町立芝山小学校
-----	----------	-----	-----------

### 1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討したり、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する問いに課題があったので、表現する力を高めるための授業改善が必要であると考えた。

### 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 身に付けるべき力を明確にして、児童が夢中になって活動できる課題解決的な学習を展開すれば、児童の学習量（読書量）が充実し、読んだことをもとに主体的に考えたり表現したりする力が育成されるであろう。
- 教師見本を作成し、児童が学習に夢中になるような指導計画を工夫（個別最適な学び・協働的な学び）すれば、意図的・計画的な言語活動が行われ、児童一人一人の思考力や表現力を高めることができるであろう。

### 3. 具体的な実践

- 読書量を確保するために、朝読書や読書ボランティアを活用したり、並行読書を行ったりした。また、読んで書く学習として、視写も全校で取り組んだ。
- 教師が見本を作成する中で、児童に身に付けさせたい力や児童への支援を把握し、学習のゴールを明確にした学習計画を工夫した。
- 児童が自分の興味に合わせて課題を選択したり、友達との交流を通して自身の考えを深めたりしながら、児童が夢中になって学習に取り組むことができる指導計画を工夫した。

### 4. 成果

- 児童が夢中で学習できる教材を選定したことと、読書量充実のための手立て（読み聞かせ・並行読書・視写）を行ったことで、読んだり学んだりしたことをもとに考え、書く力を高めることができた。
- 「ことわざ辞典」や「詩集」等を作成するという学習のゴールを明確にし、課題に関連する本を読み進めたことで、文章の特徴や文体に親しむことができた。また、それをもとにして、ことわざの例文を作ったり、詩を書き換えたりして主体的な表現活動となった。
- 教師見本を作成したことで、児童だけでなく教師側も見通しがもて、夢中になって学習に取り組むことができる指導計画となった。また、個別に支援が必要な児童に教師見本を提示したことで、自信をもって自分の考えを表現することにつながった。

#### ◆担当指導主事から

○国語科における具体的な授業改善では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を視点とし、主体的に取り組める言語活動や協働する意義を実感できる学習課題の設定を通して、教師も児童も共に夢中になれる授業づくり、単元づくりが意識されている。また、基礎学力向上に向けた帯活動や読書活動の充実など、言葉の力の自覚化への手立ても随所に見られ、学校組織全体での「学び変革」への取組が見られる。